

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成29年9月1日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	福永 睦
レジメン名	ペバシズマブ+IRIS(4週)		
疾患名	大腸がん	適応の備考	
適応分類	進行・再発		
1コース日数	28 日間	総コース数	コース催吐性リスク中等度
抗がん剤投与量・投与日	ペバシズマブ5mg/Kg day1,15、イリノテカン100mg/m ² day1,15、S-1 80mg~120mg/body 分2 朝夕食後経口投与 day1-day14		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)		(day)																														
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート																															
	点滴静注	生食注50ml	1 本 / body	5 分	●															●												
		プライミング用																														
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body	90 分	●															●												
	点滴静注	ペバシズマブ	5 mg / kg		●															●												
		投与速度は初回は90分、忍容性確認できれば、2回目60分、3回目以降30分で投与可。																														
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●															●												
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body		●															●												
		抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴																														
4	主ルート	ハロセトロン注ハッグ0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●															●												
	点滴静注	テキサート注射液1.65mg/0.5mL	3 本 / body		●															●												
5	主ルート	生食500mL	1 本 / body	90 分	●															●												
	点滴静注	イリノテカン	100 mg / m ²		●															●												
6	主ルート																															
	点滴静注	生食注50ml	1 本 / body	5 分	●															●												
	経口投与	S-1	9999 mg / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●												
		分2 朝夕食後																														
		(体表面積) 1.25m ² 未満 80mg/day 1.25~1.5m ² 未満 100mg/day 1.5m ² 以上 120mg/day																														

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

ペバシズマブ:希釈は生食のみ。

ペバシズマブ:投与速度は1回目90分、忍容性が確認できれば、2回目60分、3回目以降30分で投与可。

・ホスアプレピタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ホスアプレピタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ホスアプレピタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。